

# 赤穂総合学科新校準備委員会報告

第 20 回準備委員会

令和 7 年 1 月 14 日（火）18：00～19：30

【概況】 参加者：準備委員 16 名出席、  
          高校教育課主任指導主事、事務局 12 名、  
          傍聴者：4 名  
          内容：基本計画の詳細について

## 【内容・記録等】

### I 基本計画の詳細について

#### 1 設計チームより基本計画の策定経緯の説明

##### (1) 基本計画を作る上でのコンセプトについて

- ・ウミガメプロジェクトなど現在の学びをを活かしていく
- ・地域との交流のある学校
- ・総合学科としての多様な学び、フレキシブルな学びをどう展開するか

##### (2) 基本計画に関するワークショップを行い、どのような学びが展開されるかイメージを具体化していった

##### (3) 今後も具体的な設計に入る前に意見交換を行っていく

#### 2 設計チームより基本計画の変更点について

- ・現存の植込みは維持
- ・ランチルームは 40 席＋座敷の広さ
- ・工程計画を策定中。少しでも早く生徒が新校舎を使えるように計画している
- ・駐車場についてはマイクロバス置き場を確保
- ・体育館にはステージを設置
- ・図書館は、静かに読書や勉強するスペースを確保する
- ・凹凸のないシンプルな設計にするが、生徒が移動するための「たまり場」のような部分は必要になってくる
- ・まなびミチには空調を入れる 自然エネルギーの利用も検討
- ・新築部分と改築部分の接合部はこれから検討。改築について、どれくらい手を入れるかは棟ごとに検討。
- ・体育館は少し掘り下げて、周りから見下ろすような形になる。文化部の部室もここに集約
- ・教室の具体的な広さなどは、高校と話し合いながら決めていきたい
- ・法制度にあわせ、火災が広がらないような設計にしなければならない

## II 意見交換

- ・最大収容人数はどれくらいか？ もう1クラス分増やせないのか？ 地域からも「こんなにいい学校ができるなら通わせたい」という声が上がっている
  - 現時点の計画では5～7クラスである
  - クラス数はR10年12月の教育委員会できまる。中学校の卒業人数などから、校長が県に具申することになる
- ・1クラスの人数は何名か
  - 40人
- ・エレベーター施設は想定されているか
  - 想定はしていない。ご意見については施設課に伝える。
- ・「まなびミチ」から「まちミチ」まで、ぐるっと回れる回廊のようなイメージか
  - そのようなイメージ
- ・教室数はどれくらいか
  - カリキュラムによる
  - カリキュラムについては学校で現在がっこうで検討している。今年度中にはある程度具体的なものを提示したい
- ・警備面の不安がある。警備の計画は？
  - 職員室、事務室を人が入ってくる動線のところに設置する。更衣室はまなびミチに作るの、外部の人たちが入ってこれない場所である
- ・多目的トイレはどこか？ いろいろな人が来ることを想定すると、大人用のおむつ交換スペースも必要
  - 多目的カフェのところに設置する予定
- ・中教室が一般にイメージする教室の大きさか
  - そうである
- ・第1体育館や音楽室について、改修やエアコンの設置など新校建設にあわせて実施できないのか
  - それらは別の予算（事業）。事務室から要望をいただいて、年度ごとに検討となる
- ・多様性の時代、やはりエレベーターは必要ではないか
  - 改めて検討する